



新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● HBV 遺伝子型 / EIA

(依頼コード No.2553)

受託開始日 2011年6月1日(水) 受付分より

HBV は、ゲノム DNA の塩基配列の違いにより A ~ H の 8 種類の遺伝子型に分類されます。日本においては A, B, C, D の 4 種類の遺伝子型が見られ、うち B と C で 97% を占めますが、近年、都市部を中心に遺伝子型 A の B 型急性肝炎が増加しております。

また、「B 型慢性肝炎の治療ガイドライン」において、「B 型肝炎は、HBV genotype により治療効果が異なるため、genotype を測定して治療法を決定する。特に、genotype A, B は、35 歳以上でもインターフェロン (IFN) の効果が高率であることから、可能な限り IFN を第一選択にすることが望ましい。」とされています。

本検査は、PCR などの核酸増幅は行わず、サンドイッチ酵素免疫測定法 (EIA) を用いて、HBs 抗原の PreS2 領域に存在する 4 つの異なる抗原決定基 (エピトープ) を検出し、その有無の組み合わせから、遺伝子型 A, B, C, D を判定します。

EIA 法による HBV 遺伝子型の判定は、B 型肝炎の治療法の選択などに有用な情報を提供できるものと期待されます。

裏面に続きます

受託要領

依頼コードNo.	2553
検体必要量	血清 0.5mℓ
検体の保存方法	冷蔵
採取容器	B-1 → S-1
測定方法	EIA法
基準値	設定せず
報告単位	型
報告形式	A、B、C、Dまたは(-)
報告日数	2～8日
検査実施料/判断料	340点* / 144点(免疫学的検査)
備考	HBs抗原量が少なく、型判定が不可能な場合に(-)とご報告いたします。

* HBV ジェノタイプ判定は、HCV 特異抗体価に準じて算定する。B型肝炎の診断が確定した患者に対して、B型肝炎の治療法の選択の目的で実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定できる。

【参考文献】

- 1) 田中靖人, 他: 臨床病理 57 (1): 42-47, 2009.
- 2) Usuda S, et al.: *J Virol Methods* 80(1): 97-112, 1999.
- 3) 厚生労働省研究班による B 型慢性肝炎の治療ガイドライン (2011 年 3 月改訂)